



OSAKA・II ZONTA CLUB

大阪Ⅱ ゾンタクラブ第60号(2025年9月)



Eメールアドレス: d26osaka2@zonta-d26.jp

ホームページ: <https://osaka2-zonta.com/>

巻頭言

会長 尼木 純子



2025年4月4日(金) ホテルニューオータニ博多にて第16回エリアミーティングが催され、4月5～6日には、国際ゾンタ第3回アジア地区間会議(AIDM)が催され、アジア地域5地区(17地区; 香港・マカオ・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイ、25地区; バングラデシュ・インド・ネパール・スリランカ、26地区; 日本、31地区; 台湾・モンゴル、32地区; 韓国)のゾンシャンが一斉に福岡に集まり、ジェンダー平等達成のために出来ることを共有し、共に世界に向けて発信する素晴らしい会議となりました。



AIDMで台中Ⅲメンバーと

4月13日から大阪・関西万博も開催され、京都や大阪にも外国人の来訪も大勢見られ、故安倍首相の言及した観光立国が実現してきた様に感じます。

一方で、少子高齢化や円安の影響もあり、34年間純債権国の1位に君臨してきた日本が5月末には、ドイツに追い抜かれ、国内では長年の減反政策も祟り、米価高騰で国民が苦しんでいる状況です。ウクライナや中東での戦争も予断を許さない有様ですし、私たちゾンシャンとしては、微力ながら国内そして国際ゾンタクラブを通して、様々な課題を解決するよう福祉の心で行動して行かなければならないと思っています。

本年度も皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

オープニングセレモニー

笠置 伸子



2025年4月5日10時、Salla Tuominen 国際会長を招いて、和田津美智代ガバナーのもと国際ゾンタ第3回アジア地区間会議がニューオータニ博多で開催されました。5地区、13か国、700名あまりのゾンシャンが参加して、盛大に開催されました。

オープニングスタートは日本舞踊中村流八代目家元、中村梅彌氏による素晴らしい踊りで、拍手喝采でした。日本の国旗から始まりゾンタ旗など、次々に8本整然と行進してきたフラッグパレードでした。始めに和田津美智代ガバナーから、今回アジア地区間会議を開催するにあたって、ジェンダー平等、公平で正義あふれる社会を作るのに国境、世代を超えてゾンタのミッションを克服することに努力している、と挨拶が述べられた。

17地区 (フィリピン タイランド シンガポール
マレーシア 香港 マカオ)
ガバナー Winnie Wong

25地区 (インド バングラデシュ スリランカ)
ガバナー Zareen Delawar Hussain

31地区 (台湾 モンゴル))
ガバナー Diana Cheng

32地区 (韓国)
ガバナー Hyo Sook La

この順番に挨拶をいただいて、来賓を紹介されました。世界会長 Salla Tuominen 様よりのお祝いのスピーチを頂き、2026年の世界大会をカナダのバンクーバーで開催されるので参加を強く促された。引き続き福岡県知事の服部誠太郎氏の祝辞が述べられ、福岡市長の高島宗一郎氏のビデオメッセージを聞きました。

最後に、金獅子福の舞が活気ある音楽に併せて披露され、出席者全員に福がもたらされた様な荘厳な獅子舞でした。余談ですが金獅子に頭をかまれると、福がくると言い伝えがあるので、皆挙って頭を噛まれて、福を呼んでいました。

とても簡潔で意義のあるオープニングセレモニーで、感激の中終わりました。ゾンシャンの集まりは素晴らしい!!

ゾンタタイム

堀 知子



「ゾンタ・インターナショナルタイム」では、国際会長のサラ・トゥオミネン氏、国際開発マネージャーのエバ・ミコス氏、そしてD26地区担当の国際理事フェルナンダ・ガロフレスキ氏より、ゾンタ・インターナショナルが現在直面している最新の状況と課題についての講演が行われました。

2024～2026年期の重点目標として掲げられているのは、以下の4点です。

1. 信頼性と発信力の向上
2. 各クラブの成功促進
3. リーダーシップと持続可能性の確保
4. 同じ志を持つ団体や支持者との協働

それぞれの目標について、分かりやすく丁寧な説明があり、私たちの今後の活動の方向性を改めて確認する機会となりました。

続いて、2026年の国際大会について、国際大会委員長のロリ・ロビンソン氏より、開催地であるカナダ・バンクーバーでの大会の最新情報が紹介されました。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。国際的な視野を広げる貴重な機会となることでしょう。



フラッグパレード



国際会長とともに

セッション1

堀 知子



セッション1では、「より良い世界を築くための地区会員の増強と維持の戦略」および「アドボカシー活動」をテーマに、各地区からの活動報告と意見交換が行われました。発表者は以下の通りです。

- ・ D17 地区：ガバナー ウィニー・ウォン氏
- ・ D25 地区：副ガバナー ラッテングラム・フセイン・アブドゥルフセイン氏
- ・ D26 地区：ガバナー 和田津美智代氏、副ガバナー 矢崎和喜子氏、
アドボカシー委員長 神部眞理子氏
- ・ D31 地区：ガバナー ダイアナ・チェン氏
- ・ D32 地区：ガバナー ヒョスー・クラ氏

司会進行は、指名委員で元国際理事の木下彰子氏が務められました。

D17 および D25 地区では、若い世代の会員が多く、さまざまなイベントが活発に企画されており、勢いのある印象を受けました。

私たちの D26 地区（日本）からは、教育支援、ドメスティックバイオレンス（DV）の問題、子ども食堂への支援、「ヒトデプロジェクト」など、国内での具体的な活動内容についてわかりやすく報告がなされました。改めて、ゾンタの活動の本質や意義について理解を深める貴重な機会となりました。

また、大阪Ⅱゾンタクラブとしては、近年、会員の平均年齢が上昇していることを受け、今後は若い世代の方々を積極的に迎え入れ、より活発なクラブ活動へとつなげていきたいと感じました。

歓迎晩餐会

笹岡 厚子



歓迎晩餐会では日本の伝統文化紹介のため「きものショー」が岐阜ゾンタクラブの安田多賀子さんの企画により盛大に催されました。

最初に黒留袖の着付けの実演とその背後で数十人の女性が一斉に黒留袖を着付けするビデオが流されまして圧巻のスケールでスタートいたしました。続いて一人の女性の結婚から始まって子供ができその子が成長していく課程での様々な行事イベントが紹介されていきました。お宮参り、七五三お祝い、夏祭り、成人式、卒業式そして結婚に至るまでのさまざまなシーンでそれに合わせた色々な着物姿でゾンシャンの方々がモデルとして出演されました。私達のクラブからも尼木さん、笠置さん、内藤さんのお三方が結婚式の来賓として正装の御着物で参加されました。皆様とてもよくお似合いで綺麗でした。数十人の着付けを、安田さんは着付け教室のスタッフを連れて来られて短時間でこなされと伺っています。十二単の着付けも実演されまして盛り沢山のショーでした。

そのあと地元博多の和太鼓の演奏もおこなわれましてあっという間に時が過ぎていきました。



セッション2 基調講演

内田 智子



国連ウィメン日本協会およびNPO 法人女性人権機構理事長である橋本ヒロ子さんに、国連ウィメンの活動内容、世界の現状について多岐に渡るお話を頂いた。

国連ウィメンの10の活動分野は、1. 公共領域におけるガバナンスと政治参加、2. 女性の経済的エンパワメント、3. 女性に対する暴力の根絶（国連女性に対する暴力撤廃信託基金の運用を含む）、4. 防災、平和と安全、人道支援分野における女性の関与、5. 人道支援の推進、6. 国家統治と男女共同参画に関する国家基本計画、7. 若者とジェンダー平等→2021年「平等に向けて、全世代フォーラム」、8. 障害のある女性と少女、9. 2030年までの持続可能な開発目標（SDGs）の達成、10. HIV/エイズ（男女不平等により女性のHIVエイズ感染が増加）であった。

「2. 女性の経済的エンパワメントへの投資」は、ジェンダー平等、貧困撲滅、そして包括的な経済成長への直接的な方法である。女性はビジネスと農業の両面で、起業家として、従業員として、家庭では無給のケアギバーとして経済に大きく貢献している。国連ウィメンは、草の根組織や市民社会組織と協力し、支援を最も必要とする女性たちに手を差し伸べている。特に、農村部の女性、家事労働者、移民労働者、低技能女性など、社会的に疎外されたグループに支援を届ける。国連ウィメンは、不利な立場に置かれている女性の所得向上、資源へのアクセスと管理の改善、そして暴力からの保護といった安全の向上に取り組んでいる。（UN Women 2023年度 定期資源報告書）

「3. 女性に対する暴力の根絶」に関して、2024年10月31日、女性・平和・安全保障記念日における国連ウィメン事務局長の演説では、現在、6億1,200万人の女性と女兒が、10年前と比べて戦争への恐怖を50%強めていて、紛争で死亡する女性の割合は2023年には倍増し、紛争に関連した性暴力の確認件数は50%増加、深刻な人権侵害の影響を受けた女兒の数は35%増加したとしている。女性に対する暴力を根絶するために、各国の女性団体は国連ウィメンの支援を受け、女性が受けた暴力を克服するための研修、暴力の被害者の社会復帰を支援するカウンセリングや職業訓練を提供する女性センターの建設、女性警察官の研修などを行っている。

ウクライナの女性主導団体および女性の権利擁護団体（WRO）が、米国による資金援助停止によって閉鎖を余儀なくされるなど深刻な影響を受けているのは、由々しき事態である。ガザ情勢に関する国際機関トップ声明（2024年9月23日）として、国連ウィメンはユネスコ、WHOなどと共に、第79回国連総会に集結し、軍事攻撃による地域情勢のより広範なエスカレーションの脅威が迫る中、ガザにおける恐ろしい人々の苦しみと人道的大惨事の終結を求める月例声明を発表した。

この講演は、アジア諸国においてまだ恩恵を受けていない女性と女兒に対して、ゾンタが支援を拡大するための潜在的な方法を探る機会の提供という目的でご講演頂いた。大変貴重な講演であった。

セッション3 パネルディスカッション

尼木 純子



D17; Megan Aglaudさん（フィリピンで弁護士をしているゾンシャン）

フィリピンでは女性の4人に1人が性暴力を受けている現状で、避妊具も無く、10代の女性の妊娠が多く、生殖問題の危機に対し、ゾンシャンの弁護士がサポートし、アドボカシーが成功した事例を挙げた。→日本でもフジテレビでの女性アナウンサーへの性暴力が問題となり、業務改善が行われる事になったが、女性の心痛は計り知れない大きさである。

D25; バングラデシュ、インド、スリランカ

バングラデシュ；恵まれない女性や、子供達にコンピューター教育をする。女性への暴力を減らすため、男性からも協力を得る。女性は、経済的負担と考えられ、児童婚に繋がる。ゾンタでは、女性への暴力廃絶、権利の追求へ努力している。

ダッカⅢ；気候問題、CO2排出量増加、PM2.5増加に対し、環境保護活動への若者の参画を促している。包括的季節変動に対する関心を高める。

コロンボ、スリランカ；科学技術、工学技術を女性に。女性への暴力廃絶。

カトマンズ；ジェンダー平等達成のために努力

D26; Hinako Yuda（ゴールデンZクラブ）

専門職を持つゾンシャンからの学びや、カンボジアの女性2人と過ごす機会を得て、オンラインで世界の人々と交流し、カンボジアを訪問し、現状を知り、図書を送った。

D31; Ansily Chiu（Z-Club Member）

アジアの美の基準は痩身（容姿に重きを置きすぎる）；10代の少女の70%以上が自分の身体に不満を持ち、摂食障害や鬱となる。ゾンシャンとして、メンタルヘルスを考える。

D32; Jihyeon' Cherry' Sung（Z-Club Member）

12歳で摂食障害にて入院し、デトックススピーチに目覚める。ボランティア活動として、グリーンピース 코리아をして、地球を癒やすには、まずは自分自身を癒やす事が大事。91カ所で公演をし、国連でも発表。中学1年の時、気候活動とゾンタでYWPAを受賞。ゾンタは素晴らしい女性にあふれているし、ジェンダー平等を唱えている。ゾンタへの勧誘活動は、自分の存在感を増してくれる。

これ等の発表を興味深く聞いて、AIDMに参加されていないゾンシャンにも、皆様の熱意をお伝えしたいとおもいました。

ガラディナーパーティー

堀 知子



4月6日18時、待望のガラディナーが華やかに始まりました。ドレスコードはフォーマルまたは民族衣装で、私たち26地区は和服が推奨されていたため、会場は色とりどりの装いに包まれ、明るく華やいだ雰囲気の中でディナーがスタートしました。

ガラディナーの冒頭では、今回参加された各地区による出し物が披露されました。まず、17地区（フィリピン、タイ、シンガポール、マレーシア、香港、マカオ）の皆さんが、それぞれの民族衣装を身にまとい、伝統楽器の演奏や踊りを披露されました。続いて、25地区（インド、バングラデシュ、スリランカ、ネパール）の方々による、こちらも賑やかな音楽と踊りが会場を盛り上げました。さらに、31地区（台湾・モンゴル）、32地区（韓国）、そして私たち26地区（日本）と続きました。

台湾の踊りでは、どこか懐かしいメロディーが流れ、同じテーブルにいた台湾の方に尋ねたところ、テレサ・テンの楽曲だと教えていただきました。納得のひとつときでした。韓国の出し物では、「伽耶琴（カヤグム）」という日本の琴に似た楽器をプロの演奏者が奏でてくださいました。日本の琴よりも低音で、深みのある音色が印象的でした。会場内は多くの方々との交流や各国の楽しい演奏・踊りで大いに賑わい、熱気に包まれていました。最後には、姉妹クラブである台中Ⅲの方々とお別れのご挨拶もでき、心温まるひとときを過ごしました。帰阪の新幹線の都合で、日本の出し物は拝見できなかったのが残念でしたが、ディナーはデザート以外すべていただくことができ、美味しく堪能いたしました。



この3日間、さまざまな国や地域の方々と交流し、また先輩方から貴重なお話を伺うことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。



26地区エリア3第17回エリアミーティング

報告

内藤 恵子



ホテルニューオータニ博多でAIDMと同時開催されました。ビジネスセッション、地区タイム、ワークショップと会議が進行しました。ワークショップ1 会員増強の現状と課題、事例報告。ワークショップ2では、グループごとに意見交換し発表しました。今回は、4エリアの合同開催で14時から17時とコンパクトに纏まっていました。京都Ⅰ主催でした。来年は京都Ⅱ主催です。

今年の議題は会員増強でした。大阪Ⅱも頑張って増やしましょう。会員間のコミュニケーション、楽しい例会はできているので、各自の人脈から候補者を選びましょう。もう1つ増強プランで出たのは、SNS等イベントの広報活動が有効と指導されました。

アルゼンチンタンゴのしらべ

芳川 た江子



2025 年春のローズデーチャリティイベント「アルゼンチンタンゴのしらべ」が、3 月 2 日（日）リーガロイヤルホテル大阪の桂の間で開催されました。87 名の参加があり、12 時から司会の徳光会員の進行で始まりました。まず最初に、尼木会長からローズデーやゾンタの主旨などの紹介をかねて挨拶がありました。

次に、乾杯の御発声をエリア 3 エリアディレクターの金沢ゾンタクラブの佐佐木アユ美様よりいただきました。御主人様と金沢から出席していただき、大変ありがたかったです。その後、リーガロイヤルホテルのフルコースのランチが始まり、各テーブルで会話ははずみ、美味しい料理に舌鼓をうち、デザートタイムには、いよいよ「アルゼンチンタンゴのしらべ」が始まりました。

出演アーティストは、バンドネオンの清川宏樹様とバイオリンの外園美穂様で、バンドネオンという楽器は、アコーディオンに似ているのですが、バンドネオンには必ずボタン型の鍵盤がついていて、左 33 個右 38 個の合計 71 個のボタン型の鍵盤の配列が不規則で、伸縮の度合いにより発音が変わり、それゆえに習得が難しいとされています。持ち方も、アコーディオンにはベルトがついていますが、バンドネオンは重さが 7 キロ前後あり、座った姿勢で膝の上に置いて演奏します。アコーディオンの音色は丸くソフトですが、バンドネオンの音色はシャープでストレートで、そんなところがタンゴの曲にピッタリということで、バンドネオンはタンゴ発祥の地アルゼンチンで広く普及していったようです。

バイオリンとバンドネオンの二重奏で、以下の曲を演奏してくださいました。「首の差で・奥様お手をどうぞ・エル・チョクロ・下町のロマンス・花咲くオレンジの木・酔いどれたち・ひまわり・アベマリア・サメ・新婚旅行・さらば友よ・忘却・想いの届く日・リベルタンゴなど」素晴らしい音色と曲で、私達は吸い込まれるようにアルゼンチンタンゴの世界にひきこまれていき、とても感動的な時間を過ごせました。

御礼の花束の贈呈は、清水会員と内田会員からあり、最後に堀副会長から閉会の挨拶があり、チャリティイベントコンサートは無事に終わりました。タンゴの歴史や文化にふれ、楽しい時間を過ごせました。皆様、御協力ありがとうございました。

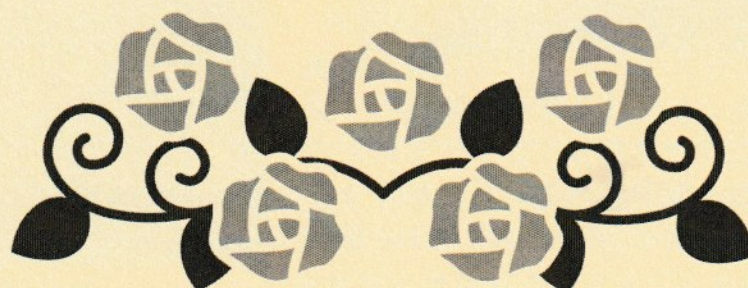


年間活動報告

2024.6.1. ~ 2025.5.31

例会日：毎月 第2木曜日 18時～
4月・11月移動例会

月	日	曜	例会等の場所	活動内容	委員会活動その他
2024					
6	13	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	前年度決算報告、次期予算案審議 チャリティイベントの検討	前年度の活動報告 クラブ内委員会メンバー決定
7	11	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	チャリティイベントの検討 11月移動例会について討議	ブリスベン世界大会の参加報告(2名参加) 今年度の寄付先承認(前年度と変更なし)
9	12	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	卓話 前AD西村寛子氏(歌舞伎 よもやま話 押し隈の展示と共に)	赤間博斗氏入会承認 広報紙58号発行
10	10	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	チャリティイベントの準備	35歳以下の若手専門家の会費及び祝金、 卓話謝礼金にかかる規約改正
11	10	日	移動例会	神戸須磨シーワールド(7名参加)	
12	12	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	チャリティイベントの準備	26地区エリアミーティングレポート配布 中塚淳子会員退会
2025					
1	16	木	花外楼 北浜本店	大阪Iとの合同新年会 エリア3AD 佐佐木あゆ美氏クラブ 訪問	
2	13	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	チャリティイベントの準備	1月ゾンタ委員長ZOOM会議参加 報告
3	2	日	リーガロイヤルホテル 桂の間	チャリティイベント(アルゼンチンタ ンゴのしらべ)(87名参加)	広報紙59号発行
	13	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	チャリティイベント収支報告	
4	20	日	移動例会	和歌山(加太淡島温泉ひいの湯) (9名参加)	4/4～6 26地区エリアミーティング・ AIDM(ホテルニューオータニ博多) (6名参加)
5	8	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	チャリティイベントの検討	26地区エリアミーティング・AIDM(ホテル ニューオータニ博多)参加報告



加太淡嶋温泉 大坂屋ひいな湯

辻 康子



2025年4月20日(日)三林会員ご紹介の赤間博斗会員が料理長をしておられる「加太淡嶋温泉 大坂屋ひいな湯」を訪問しました。参加者は尼木、内田、笠置、坂本、笹岡、辻、内藤、久岡、三林会員の計9名。朝10時過ぎ南海電車難波駅より特急サザンに乗り、ほぼ1時間で和歌山市駅着。そこで加太線に乗り換え30分ほどで終点加太駅。加太線は赤色の「めでたい電車」。車内には海の生き物のつり革やモチーフがいっぱい、鯛のデザインのラッピング電車に遠足気分で盛り上がりました。加太駅から旅館のお迎えバスに乗り、頃合いよく「ひいな湯」に到着しました。

赤間会員はイタリア、オーストラリアをはじめ中東やアジアの国々など諸外国で日本料理を伝授しておられ、お忙しい日々の中、移動例会の日が決まるやメインディッシュにお造り7種盛り、生ウニ、アワビ踊り焼き、貝づくしや熊野牛石焼きなど9種類の中からそれぞれ好きなものを3つ選ぶようにとご案内がありました。その時点で新鮮魚介などへの期待が膨らみ、とても楽しみに当日を迎えました。

目にも美しい季節感溢れたお料理の数々、島々に囲まれた加太の穏やかな海で獲れた新鮮な魚たち…「お腹いっぱい!」と言いながら、たくさんのご馳走を頂きました。

食事の後、5分ほど歩いて淡嶋神社へ。人形供養や雛流しの神事で知られる神社で、境内にはお雛様や招き猫などいろいろな人形が種類別にきれいに並べられていて圧倒されました。

今回は温泉に入らず心残りでしたが、美味しいものを頂き、穏やかな海を眺めながらの散策に心解きほぐされ、満足と感謝の1日でした。



編集後記

今号では、チャリティイベント、エリアミーティング、アジア地区間会議、移動例会など盛りだくさんの活動をご報告しました。多くの方々のご協力のもと、無事に発行できましたことを心より感謝申し上げます。

堀 知子